

No. 26-37
2026年9月

新規受託項目のお知らせ

謹啓 時下ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。
平素は格別のお引き立てを賜り、誠にありがとうございます。
このたび、下記の検査項目につきまして新規受託のご案内をさせていただきます。
今後とも変わらぬご愛顧の程、何卒よろしくお願い申し上げます。

謹白

記

● 新規受託開始日 2026年11月2日（月）受付分より

● 新規受託項目

項目 コード	検査項目 JLAC10	検体量 (mL)	容器	保存 (安定性)	所要 日数	実施料 判断料	検査方法	基準値 (単位)
3685	PGE-MUM (プロスタグランジンE 主要代謝物) 4Z150-0000-001-052	尿 2.0	2	冷蔵 (21日)	3~7	187 (尿糞)	CLEIA法	カットオフ値： 30.2以下 ($\mu\text{g/gCr}$)

<備考>

潰瘍性大腸炎の病態把握の補助における参考カットオフ値は $30.2\mu\text{g/gCr}$ 以下です。

<保険留意事項>

ア プロスタグランジンE主要代謝物（尿）は、潰瘍性大腸炎の患者の病態把握の補助を目的として、尿を検体とし、CLEIA法により測定した場合に、3月に1回を限度として算定できる。ただし、医学的な必要性から、本検査を1月に1回行う場合には、その詳細な理由及び検査結果を診療録及び診療報酬明細書の摘要欄に記載すること。

イ 潰瘍性大腸炎の病態把握を目的として、カルプロテクチン（糞便）、ロイシンリッチ α 2グリコプロテイン又は大腸内視鏡検査を同一月中に併せて行った場合は、主たるもののみ算定する。

<PGE-MUM（プロスタグランジンE主要代謝物）>

Prostaglandin E2（PGE2）は、シクロオキシゲナーゼによって産生される炎症の促進や抑制に関わる主要なメディエーターであり、その濃度は生体の炎症を反映します。

血中へ放出されたPGE2は速やかに代謝されるため、血中PGE2濃度の測定は困難ですが、尿中に排出されるプロスタグランジンE主要代謝物（Prostaglandin E-major urinary metabolite：PGE-MUM）は血中PGE2よりも安定していることから、尿中PGE-MUMは全身的なPGE2産生量の指標になると考えられています。

潰瘍性大腸炎においてPGE-MUMは、内視鏡的活動性や臨床的活動度を反映していることから、病態把握を行ううえで疾患活動性の変化を簡便かつ適切に評価でき、不要な内視鏡検査の回避や治療法の選択の一助として有用です。また、尿を検体としていることから、患者負担の低減に期待されています。